



EIDAIKAKO

第66期 報告書

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日



社 是

以和為貴

「和を以て貴しとなす」

経営方針

英知と活力を集結して
事業の発展を目指し、
法令順守のもと
我々が誇れる会社を目指す。

 永大化工株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第66期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の営業を終了いたしましたので、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により企業収益は急激に悪化し、社会経済活動を回復させていくなかで各種政策の効果により一部には持ち直しの動きがありましたものの、感染再拡大に伴い再度緊急事態宣言が発出されるなど収束が見通せない状況が継続しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、顧客のニーズに沿った新製品の開発から既存品の高付加価値商品化の推進に取り組むとともに、既存品の新規販路開拓等、成長分野での販売強化を図ってまいりました。また、利益率の改善のため経費節減等の業務効率化に努めてまいりました。

その結果、売上高77億1百万円(前期比4.9%減)、営業利益2億31百万円(前期比6.8%減)、経常利益2億59百万円(前期比11.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1億61百万円(前期比18.3%増)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

[自動車用品部門]

自動車用品関連につきましては、自動車業界全体においては、自動車販売台数は新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動自粛等により、上半期は前年に比べ月当たり最大40%程度減少した月があったことに伴って

当社の自動車用フロアマットの売上も大幅に減少しましたが、下半期は概ね前年平均水準に復調し推移いたしました。その結果、売上高48億83百万円(前期比10.0%減)、営業利益1億45百万円(前期比24.4%増)となりました。

[産業資材部門]

産業資材関連につきましては、電子部品関連は自動車関連向けの搬送トレイ部材などに新型コロナウイルス感染拡大の影響による受注減の影響はありましたが、冷蔵庫用関連部材が堅調に推移したことに加え、住宅建材向け新製品の売上増加で補う結果となりました。また、公共事業向け部材およびエクステリア向けデッキ材については、概ね前期並みで推移いたしました。その結果、売上高28億18百万円(前期比5.4%増)、営業利益86百万円(前期比34.5%減)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

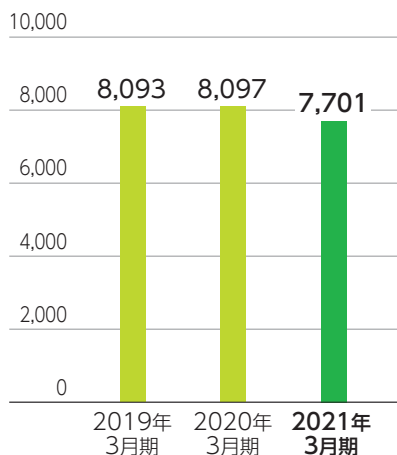
2021年6月



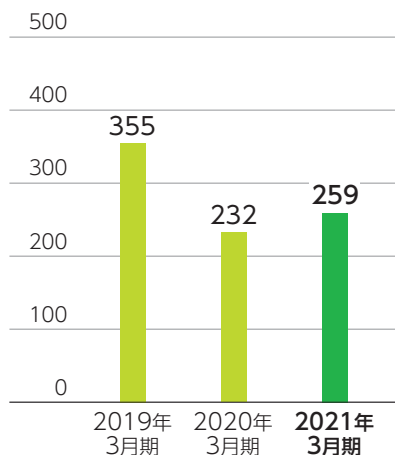
代表取締役社長
浦 義 則

《 連結財務ハイライト 》

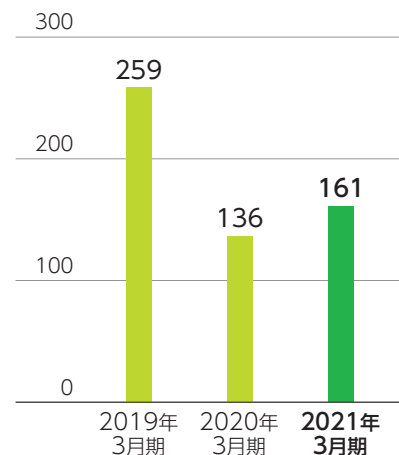
▶ 売上高 (百万円)



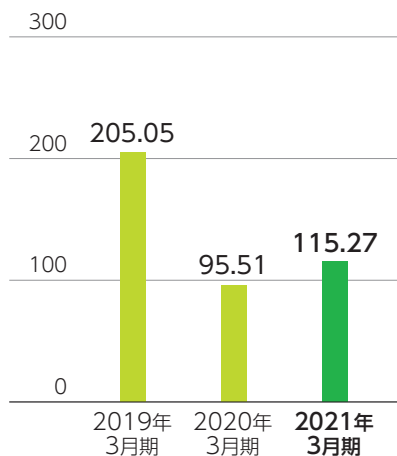
▶ 経常利益 (百万円)



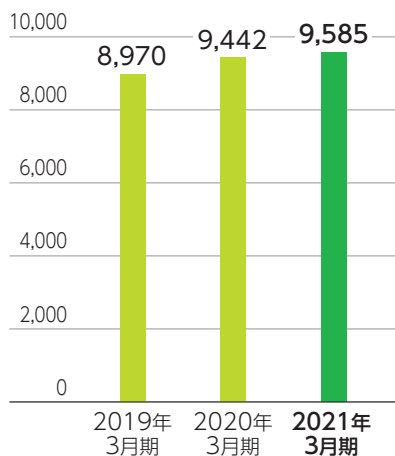
▶ 親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)



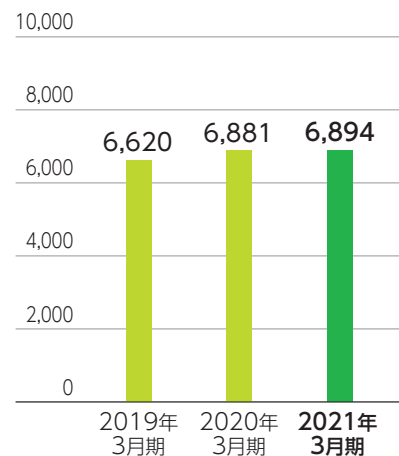
▶ 1株当たり当期純利益 (円)



▶ 総資産 (百万円)



▶ 純資産 (百万円)



▶ 連結貸借対照表(要約) (単位：千円)

科 目	当 期 (2021年3月31日現在)
資産の部	
流動資産	5,780,179
固定資産	3,805,711
有形固定資産	3,084,039
無形固定資産	222,948
投資その他の資産	498,723
資産合計	9,585,891
負債の部	
流動負債	1,770,017
固定負債	921,091
負債合計	2,691,109
純資産の部	
株主資本	6,336,388
資本金	1,241,700
資本剰余金	1,271,253
利益剰余金	3,942,450
自己株式	△119,016
その他の包括利益累計額	558,393
その他有価証券評価差額金	46,293
土地再評価差額金	476,930
為替換算調整勘定	29,826
退職給付に係る調整累計額	5,343
純資産合計	6,894,781
負債及び純資産合計	9,585,891

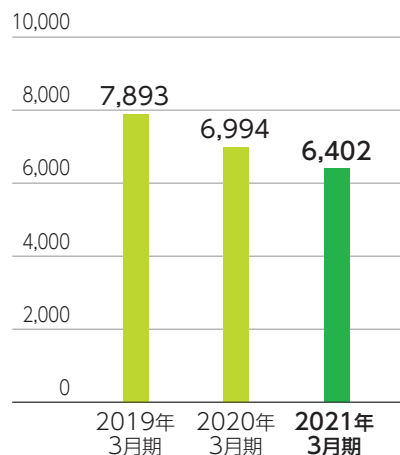
▶ 連結損益計算書(要約) (単位：千円)

科 目	当 期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	7,701,820
売上原価	5,927,166
売上総利益	1,774,653
販売費及び一般管理費	1,542,852
営業利益	231,800
営業外収益	47,290
営業外費用	19,570
経常利益	259,520
特別利益	203
特別損失	5,340
税金等調整前当期純利益	254,384
法人税、住民税及び事業税	108,902
法人税等調整額	△16,228
当期純利益	161,710
親会社株主に帰属する当期純利益	161,710

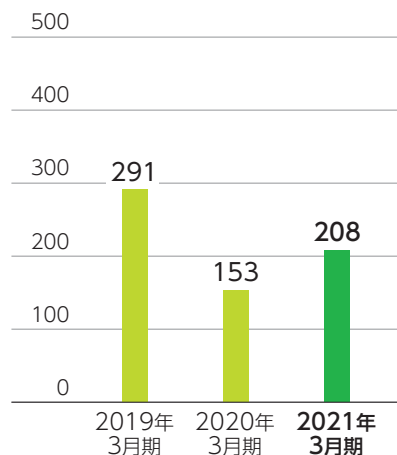
(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

〈個別財務ハイライト〉

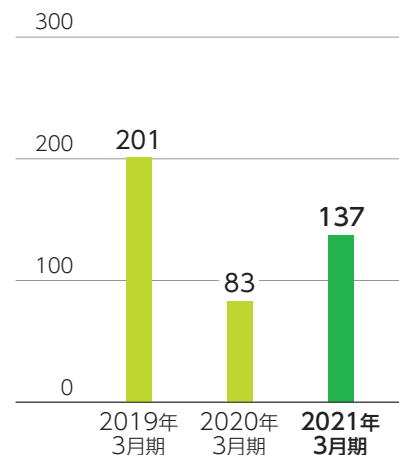
▶ 売上高 (百万円)



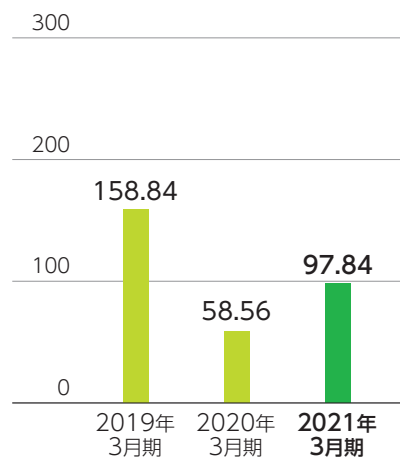
▶ 経常利益 (百万円)



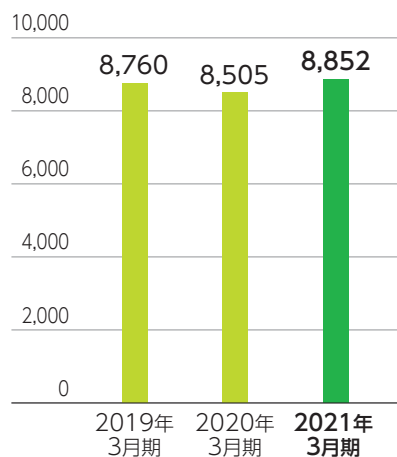
▶ 当期純利益 (百万円)



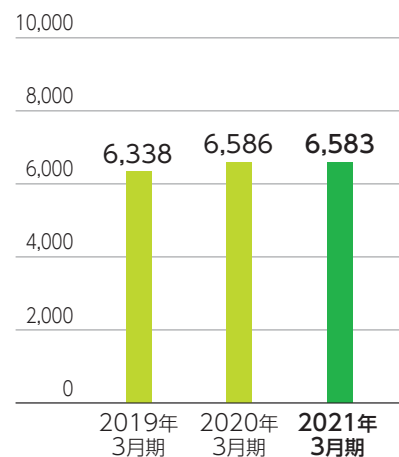
▶ 1株当たり当期純利益 (円)



▶ 総資産 (百万円)



▶ 純資産 (百万円)



▶ 貸借対照表(要約) (単位：千円)

科 目	当 期 (2021年3月31日現在)
資産の部	
流動資産	5,325,782
固定資産	3,526,961
有形固定資産	2,179,369
無形固定資産	8,963
投資その他の資産	1,338,628
資産合計	8,852,744
負債の部	
流動負債	1,679,163
固定負債	590,489
負債合計	2,269,653
純資産の部	
株主資本	6,059,867
資本金	1,241,700
資本剰余金	1,271,253
利益剰余金	3,665,930
自己株式	△119,016
評価・換算差額等	523,223
その他有価証券評価差額金	46,293
土地再評価差額金	476,930
純資産合計	6,583,091
負債及び純資産合計	8,852,744

▶ 損益計算書(要約) (単位：千円)

科 目	当 期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	6,402,124
売上原価	4,934,413
売上総利益	1,467,711
販売費及び一般管理費	1,298,435
営業利益	169,275
営業外収益	44,300
営業外費用	5,034
経常利益	208,542
特別利益	136
特別損失	904
税引前当期純利益	207,774
法人税、住民税及び事業税	83,664
法人税等調整額	△13,153
当期純利益	137,262

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

自動車用品 部門

当社は設立が1956年で1970年代後半に自動車のフロアマット分野に進出しました。

自動車用品事業は、3拠点(日本、ベトナム、中国協力工場)にて純正フロアマットを中心に製造販売を行っており、国内外の大手自動車メーカーのOEM商品として採用されていると共に、一般ユーザーの需要に応えるオリジナルブランドのフロアマットも製造販売しており日本国内でのトップシェアを維持しております。



また2010年代中頃よりグローバル営業戦略に伴い、中華圏・アセアン地域を中心に海外ビジネスもスタートし、国内シェアの安定化と共に拡大強化しております。

メイン商品はフロアカーペットマットであり、カーペット(絨毯)と独自の押出技術を複合した車両用マットであります。

また、最近では耐水・防汚に優れた素材をインジェクション成形したオールウェザーマットも好評で有り、この2アイテムを柱とし、高度なクオリティでカーマットのリーディングカンパニーとなっております。

50年の歴史で我々が学んできたフロアマットのノウハウを活かし、個の力とチームワークで自動車業界の環境変化に積極的に取り組み、高度な価値創造に挑戦し続け、地球全体の環境保全にも配慮した製品を提供し、これまで以上に快適なカーライフの実現をサポートして参ります。

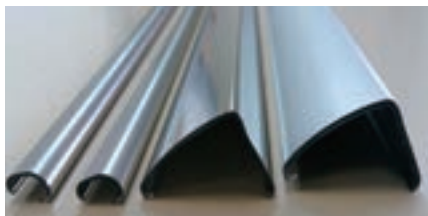
産業資材 部門



産業資材部門としては、現在マガジンスティックを主とする「半導体関連部材」、端子台カバーを主とする「工業用部材」、エアコン用ダクトを主とする「住宅関連部材」、オフィス部材を主とする「鋼製家具部材」、白物家電を主とする「家電製品部材」、公共工事向け部材である「下水道管路補修部材」の6事業を柱と位置づけ、市場構造の変化を見据えながら事業を推進しております。

特に「住宅関連部材」であるエアコン用ダクトカバーの生産が本格的に稼働し、売り上げの拡大と雇用の確保を行うことが可能となり、「下水道管路補修部材」とともにコア事業とするまでに成長しました。

産業資材部門では販売戦略(マガジンスティック)、商品戦略(エアコン用ダクトカバー、下水道管路補修部材)で生産の基盤を固め、それらを支える技術力と人材を生かしたものづくりを行っております。さらに、技術力の強化に努め、生産効率や付加価値の向上とともに安心・安定した製品をお客様に届けることを目指します。



ストランデックス事業 部門 (株式会社K&M)



株式会社K&Mは2009年に創業し、「合成木材」(木粉と樹脂の複合材)の開発・製造・販売に特化して事業運営を行っており、国内においては有数の合成木材メーカーとして認知されております。

K&Mブランドとしての製品は市場に出回っておりませんが、エクステリアメーカー様、ベンチメーカー様、造園業者様等からのオーダーにお応えした部材を、QCDを満たした条件でご提供させて頂いており、お客様ブランドで多種多様にご販売頂いております。

近年、海外の合成木材メーカーとの価格競争が激しくなっており、価格(コスト)の見直しに伴い再生原料の使用比率や工程改善を求められるニーズと、調達リスクや品質の安全性、開発等に注目されて、コストダウンより付加価値を重要視されるニーズの二極化に対応すべく、社内だけでなく協力会社様、仕入先様とも共同で事業運営を取り組んでおります。

今後は今まで培った合成木材の開発・製造・販売の経験・知識・ノウハウを活かしながら、固定概念や先入観にとらわれないよう柔軟な発想・幅広い視野をもって取り組んで参ります。



株 式 情 報 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 4,000,000株
 発行済株式の総数 1,460,000株(うち自己株式80,204株)
 当事業年度末の株主数 1,340名(前期末比180名増)

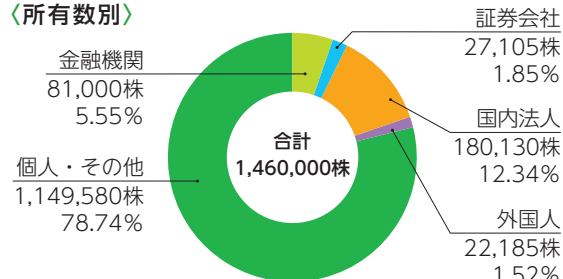
大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
和田正行	266	19.35
永大化工共栄会	106	7.69
加貫るり子	41	2.97
遠山和子	40	2.90
大阪中小企業投資育成会社	39	2.84
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	37	2.68
星和電機株式会社	32	2.35
和田和子	32	2.33
日本生命保険相互会社	28	2.03
永大化工従業員持株会	25	1.81

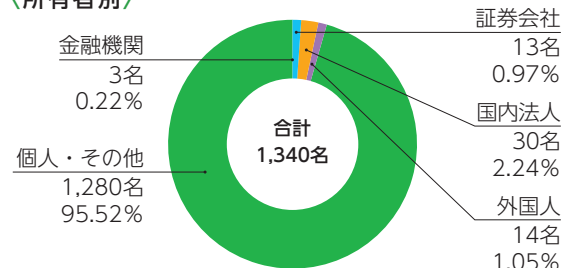
(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、自己株式(80,204株)を控除して計算しております。

▶ 株式分布状況

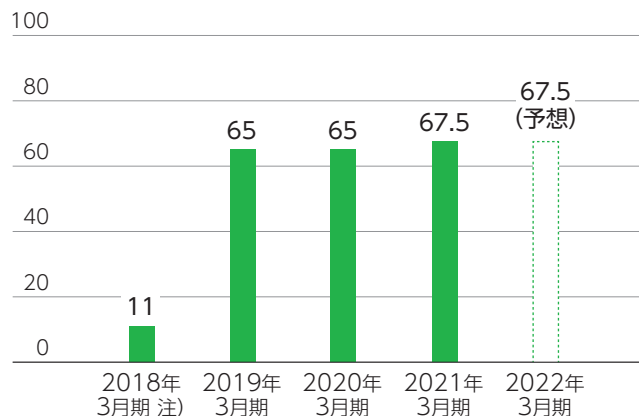
〈所有数別〉



〈所有者別〉

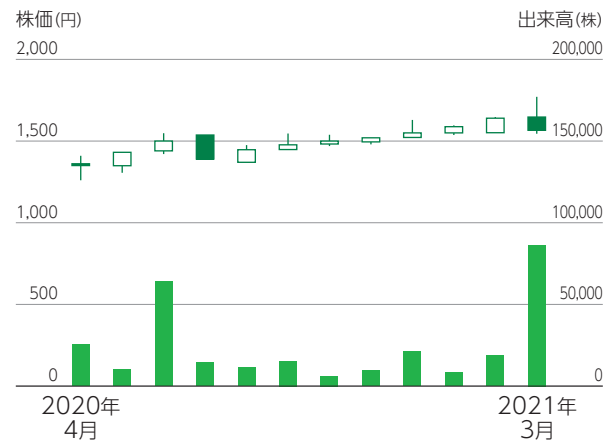


▶ 配当金の状況 (円)



(注) 1. 2018年10月1日付けで株式併合(5:1)を行っております。
 2. 2018年3月期については、当該株式併合前の実際の配当額を記載しております。

▶ 株価・売買出来高の推移



〈 役 員 (2021年3月31日現在) 〉

代 表 取 締 役 社 長 浦 義 則

常 務 取 締 役 鈴 木 広 二

取 締 役 (監 査 等 委 員) 佐 藤 吉 弘

社外取締役 (監査等委員) 藪 本 憲 靖

社外取締役 (監査等委員) 北 畠 昭 二

〈 会社の概要 (2021年3月31日現在) 〉

設 立 1956年11月1日

資 本 金 1,241,700,000円

発行済株式 1,460,000株

- 事 業 目 的
- 1.合成樹脂シートの製造及び販売
 - 2.合成樹脂異型成形品 (家庭電化製品用内外装部品、住宅用内外装建材、鋼製家具用内外装部品、車輛用フロアーマット、風呂蓋、厨房用品、パイプハンガー) の製造及び販売
 - 3.前各号に関する商品の輸出入
 - 4.上記各号に付帯又は関連する一切の業務

インターネット アドレス
ホームページ <https://www.eidaikako.co.jp/>

〈 株主メモ 〉

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日

定時株主総会議決権確定日 3月31日
期末配当金受領株主確定日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定 時 株 主 総 会 毎年6月

単 元 株 式 数 100株

株 主 名 簿 管 理 人 みずほ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (通話料無料)
〔受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕
ホームページ <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)
〔受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕
ホームページ <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所

公 告 の 方 法 日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
2. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本店および全国各支店ならびにみずほ銀行本店および全国各支店でお支払いいたします。
なお、みずほ証券にてもお取次ぎいたします。